

令和8年度（4月入学） 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科  
 博士前期課程（修士課程） 外国人留学生特別入試 口述試験の概要

専攻名	口述試験の概要
材料制御化学専攻	受験者がこれまでの研究内容又は今後の研究計画に関して口頭発表を行った。その後、それに準ずる教育的研究に関わる専門知識等についての質疑応答を行った。
物質合成化学専攻	卒業研究の内容について簡潔に説明できるか、有機化学の学力が十分か、博士前期課程（修士課程）における熱意があるかを評価した。
電子システム工学専攻	本専攻のアドミッションポリシーの要件を満たすために相応しい能力・判断力・思考力・表現力を有しているかを試問した。
情報工学専攻	受験の動機、入学後の抱負などに関する質問の後、受験者が大学において身につけてきた学力・研究力を判定するために、現在の研究内容、今後の研究計画等に関する質疑を行った。
機械物理学専攻	現在遂行中の卒業研究や志望する分野における進学後の取り組みなどについて説明を求め、質疑応答を行った。また、志望分野の基礎となる4力学に関する基礎力について口頭試問を行った。
機械設計学専攻	現在遂行中の卒業研究や志望する分野における進学後の取り組みなどについて説明を求め、質疑応答を行った。また、志望分野の基礎となる4力学に関する基礎力について口頭試問を行った。
デザイン学専攻	志望動機および志望関連分野の学力を確認するため、これまでの取り組みや大学院における研究計画について説明を求め、それに基づく質疑応答を行った。また、英語によるコミュニケーション能力についても確認した。
建築学専攻	（特定課題型） 志望する研究室や志望動機について説明をさせた後に、以下に関して質問した。 ・研究計画書や提出された資料における内容 ・ポートフォリオの内容 ・自分の将来の展望について （論文型） ※出願者なし
先端ファイブロ科学専攻	受験者の卒業研究およびその関連分野に対する基礎的理解をはじめ、本専攻での研究内容との整合性や進学動機、さらには将来の進路に対する意識（就職希望分野等）について試問した。また、自己PRやそれに関連する質疑、人物面、および研究への取り組み姿勢に対して試問した。さらに日本語による質疑を行い日本語運用能力についても試問した。